

## 生産局長賞 団体部門

### 農業者の結束による地域が一体となったシカ被害対策

長崎市有害鳥獣対策協議会（代表者：会長 溝口 博幸） 長崎県

#### 主な取組

近年、長崎市では、シカ、イノシシ等による農作物被害や生活環境被害が問題となる中で、関係団体が相互の連絡を密に協力し、被害防止対策を講じるため、平成18年4月に協議会を設立。

特に、同市のビワ産地は、平成18年9月に来襲した台風第13号により壊滅的な被害を受けたことから、ビワ産地復興を図るため、地域が一体となってシカ被害対策等に取り組む。

平成20年度においては、改植を進めているビワの優良新品種「なつたより」の苗木を食害から防止するため、協議会が事業主体となり、長崎半島をぐるりと囲む全長約27kmのワイヤーメッシュ柵を農業者自らで整備。整備にあたっては地域の農業者が結束して短期間で完成させるなど、新たなビワ産地に生まれ変わるため、地域が一体となった被害対策に取り組んでおり、他の模範となる先駆的取組を実施。